

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長／イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー／瀧川 好庸
●会長／大西 淳滋郎 ●幹事／井上 孝明 ●クラブ会報委員長／宮本 鹿司夫
●事務局／〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：
変化をもたらす

第 2126 号

平成30年 5月 10日 (木) No 38

卓話：長谷川 輝幸会員

木曾 秀行会員



★ 会長挨拶



★ 長谷川 輝幸会員



★ 木曾 秀行会員

会長の時間

大西 淳滋郎

皆さん、こんにちは。地区研修協議会では本当に大勢のメンバーに御世話になりました。心より感謝致します。これからも、矢野ガバナーの任期終了まで宜しくお願い致します。

5月13日は、「母の日」です。お母さんに感謝する日です。私は母が65才の時に亡くなりました。今では仏壇の前に花をお供えすることぐらいしか出来ません。生前には照れくさくて感謝の言葉を伝えることが出来ませんでした。特別なプレゼントをまだ用意していない人も、なんだか照れくさくて毎年スルーしている人も。感謝の言葉を伝えるプレゼントは如何でしょうか？我が家では、母の日に感謝を口に出すだけではなく、娘の誕生日にも娘の口から妻に『生んでくれて有り難う』の感謝の意を伝えさせております。

そこで、今日は「ありがとう」の言葉について考えてみたいと思います。皆さん、ありがとうの反対の言葉は何だと思いますか？それは「あたりまえ」だそうです。皆さんはお分かりでしたでしょうか？私達は日ごろの生活を送るなかで、たくさんの事を当たり前として、過ごしてしまっています。例えば、ご飯を食べること、暖かい布団に入って寝ること。他にも、自分が今生きていることや、当たり前のように一緒に家族がいることなど、すべてが当たり前で、特別な事とは、なかなか思うことが出来なくなってしまっているのではないのでしょうか。

『ありがとう』という心が起るのは、それが当たり前ではないことに気付くことがなければ、決して起こることのない心なのです。しかしながら、悲しいことに私達は、当たり前と思っていることが、当たり前でなくなるまで、なかなか気づくことが出来ないのかもしれない。当たり前とあって過ごしている人生では、幸せが当たり前となり、幸せの中に居ながら、幸せを頂く心のアンテナがだんだんと閉じてしまうのかもしれない。それは人間にとって一番不幸なことなのです。ありがとうではなく、当たり前としか受け取ることができなかった自分に気づき、今自分の周りにあるたくさんの当たり前でないことを、しっかりと見つめていくことで、本当の幸せをいただけるのではないのでしょうか。言葉で『ありがとう』というのは簡単です。「人に親切にされたら、ありがとうと言いましょ」という、昔からの道徳も、その言葉自体が大切なのではなく、そこに当たり前でないという感謝の思いが必要であるということでしょう。

日々、生きていること、生かされていることに感謝を忘れてはいけませんね。そして、目の前にいるもの、あるもののできるだけ感謝の気持ちを伝えながら生きていきたいですね。ありがとうは奇跡の連続なのです。悔いを残さないように生活していきましょう。会長の時間を終わります。